

「ニーズに沿ったグループ活動と意欲の関連性

-Vitality index を用いた評価-

○発表者名	社会福祉法人真誠会	通所介護弓浜ゆうとぴあ	理学療法士	後藤	智基
共同研究者名	社会福祉法人真誠会	通所介護弓浜ゆうとぴあ	介護福祉士	松本	文
	社会福祉法人真誠会	通所介護弓浜ゆうとぴあ	介護福祉士	阿部	美香
	社会福祉法人真誠会	通所介護弓浜ゆうとぴあ	看護師	村上	沙妃

1. 問題提起

全国的に施設数の多いデイサービスでは、近年「リハビリ特化型」や「趣味特化型」等、多様化が進んでいる。当事業所では、令和元年度に「目的のリハビリテーションを強化し、個別性のあるサービスを提供する事で、満足度向上を図る。」を目的として家族を主体としたアンケートを実施した。アンケート結果として、家族はレスパイトを目的とした利用が多く、利用者の活動意欲に関しては関心があまり得られなかった。また、目標設定としても家族の意思を尊重した為、本人の運動に対するやりがいや意欲向上が得られなかった。利用者が今いる地域でより良い生活を送っていくためには、生活機能・QOLの向上が不可欠である。生活に対する積極的な反応の表出である「意欲」は生活機能・QOLの向上に大きな役割があるといえる。

2. 目的

利用者本人の意欲を向上させることが重要という視点から、利用者本人の“主体性”と“やりがい”を引き出すことを目的とし再度アセスメントを実施する。まず、アセスメントを実施することで、ご本人の意思に基づいた活動を行い、活動意欲の向上を図ることを目的にした。

3. 方法

生活習慣シートを使用しニーズの把握を行い、生活意欲に関しては認知症患者でも回答の有効性が高いとされている vitality index を用いた。

1. 対象者

当事業所利用の利用者 56 名に vitality index を実施。Vitality index のカットオフ値とされる 7 点をもとに評価として 7 点以下であった 22 名を対象に実施し、介入前と介入後で意欲の有意差を観察する。

2. 期間

令和 2 年 5 月～令和 3 年 3 月

3. 介入内容

利用者に対して活動に関してアンケートを行い、ニーズの検討、サービス計画書の見直し実施。ニーズとして多かった、【散歩】【体操】【レクリエーション】【手作業】の中から利用者本人に活動を選択して頂き午前中 30 分の活動実施。

4. 成果・課題

【成果】

サービス計画書の見直しを行った 22 名中最終評価時にご利用されていた 10 名に対して vitality index 実施。初期評価時（表①）平均 6.1 点から最終評価時（表②）平均 7.1 点と全体を通して意欲の向上が認められた。有意水準 5%で両側検定の t 検定を行ったところ、 $p=0.0084$ と有意差が認められた。図 1 より、意思疎通（Communication）、リハビリ、活動（Rehabilitation, Active）において平均 0.3 点と意欲の向上認めている。10 名中カットオフ値を上回る 8 点以上だった利用者は 4 名であった。

今回の取り組みで有意差が認められたのは、自身でやりたい活動または自身で活動を選択する

高齢者福祉（在宅系）分野

ことで“主体性”と“やりがい”が引き出され意欲の向上に繋がったと考える。また、特に、意思疎通（Communication）、リハビリ、活動（Rehabilitation, Active）において意欲の向上が認められたのは、生活習慣シートで得られたニーズを個別機能訓練の目標として設定することで、やらされていた運動が意味のある運動に変わり、他者とコミュニケーションをとる機会も多くなり、意欲向上につながったのではないかと考える

【課題】

平均的に意欲の向上は認められたが、カットオフ値 7 点以下の利用者も 6 名いた。活動に関して利用者すべてのニーズに対応できていないわけではない。また、午前中の 30 分だけではなく、午後からの過ごし方についても検討が必要である。しかし、生活意欲を向上させるためにはデイサービスでの活動だけでは限界がある。在宅生活において意欲の向上と生活に相関性を持たせるためには家族の協力が不可欠であると考えられる。

また、もともと意欲があると判断された利用者に対して Vitality index では、更なる意欲向上の評価が十分に行えない。また、週 1～2 回しか利用されていない利用者においては、十分な運動効果や意欲の向上は望めない。利用回数と運動効果に関する研究は多く報告されているが、利用回数と活動意欲に関する研究は少ない。今後、利用者、または家族に対して今回の介入方法を利用回数の増加に活かすことを目標に取り組んでいきたい。

【結果データ】

表①

対象者	起床	意思疎通	食事	排泄	リハビリ・活動	合計
a	1	1	2	2	0	6
b	1	1	2	2	1	7
c	1	1	2	2	0	6
d	1	1	2	2	1	7
e	1	1	2	2	1	7
f	1	1	2	1	1	6
g	1	1	2	2	1	7
h	1	1	2	2	0	6
i	1	1	0	0	0	2
j	1	2	2	1	1	7
平均	1	1.1	1.8	1.6	0.6	6.1

表②

対象者	起床	意思疎通	食事	排泄	リハビリ・活動	合計
a	1	1	2	2	1	7
b	1	1	2	2	2	8
c	2	2	2	2	1	9
d	1	2	2	2	1	8
e	1	1	2	2	1	7
f	2	1	2	2	1	8
g	1	1	2	2	1	7
h	1	2	2	2	0	7
i	1	1	1	0	0	3
j	1	2	2	1	1	7
平均	1.2	1.4	1.9	1.7	0.9	7.1